

高岡の銅器・鉄器

【産地の特色】

高岡銅器は、慶長 16 (1611) 年に加賀前田家二代目当主、前田利長公が産業振興策のひとつとして現在の高岡市金屋町かなやまち いもじに鋳物師を呼び寄せ、集住させたことに始まる。当初は鍋・釜・農機具などの鉄鋳物が主体であったが、幕末から銅製の美術工芸品製造へと発展し、明治時代にはパリ万国博覧会において展示されるなど、世界的に知られることとなった。

戦時中、軍事使用のために金属が供出され壊滅的な打撃を受けたものの、戦後、先人たちの努力により急速に復興し、さらに新製法の導入によって大量生産体制が確立された。昭和 50 年 2 月に伝統的工芸品として国の第一次産地指定を受けている。

高岡鉄器は、当初の鍋・釜・農機具等を引き継いだ日用品の製造を中心として発展し、戦後、高岡銅器の技術を活かして美術鉄器が作られるようになった。平成 25 年に富山県伝統的工芸品の指定を受けている。

産地の特徴として、製造・加工部門において工程別の分業体制が確立されているほか、事業所規模が小さく、集積度が全国の他産地に比べて高いことなどが挙げられる。

長年、製造・加工業者は自らの工程に専念し、新商品の企画や販売機能を産地問屋が担う分業体制が採られてきたが、近年、産地問屋からの発注が減少したこともあり、独自に商品を企画し、国内外に販路開拓を行う製造・加工業者が増加している。

【動向】

令和 2 年度の販売額は、銅器が約 95 億 8 千万円であり、対平成 30 年度比 7.1%減少している。また、鉄器は約 1 億 8 千万円であり、対平成 30 年度比 38.1%減少している。

銅器・鉄器の合計販売額は約 97 億 8 千万円で、対平成 30 年度比 7.9%減少している。売上減少の要因として、令和 2 年初頭からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあると推測される。

品種別の販売額の割合について、これまで「その他」に分類していた「テーブルウェア」と「文具・日用品」の項目を新たに設けたところ、テーブルウェアの割合は 16.6%、文具・日用品の割合は 5.3%であった。特にテーブルウェアは高岡銅器の主力商品である神仏具に次ぐ割合を占めており、今後も販売割合を伸ばしていくことが見込まれる。

事業者数について、精密な造形が特長である「蠟型」が、今回調査においてゼロとなった。現在は、伝統技法である蠟型鋳造法に代わり、近代的なロストワックス鋳造法が当産地における産業面の精密鋳造を担っている状況である。

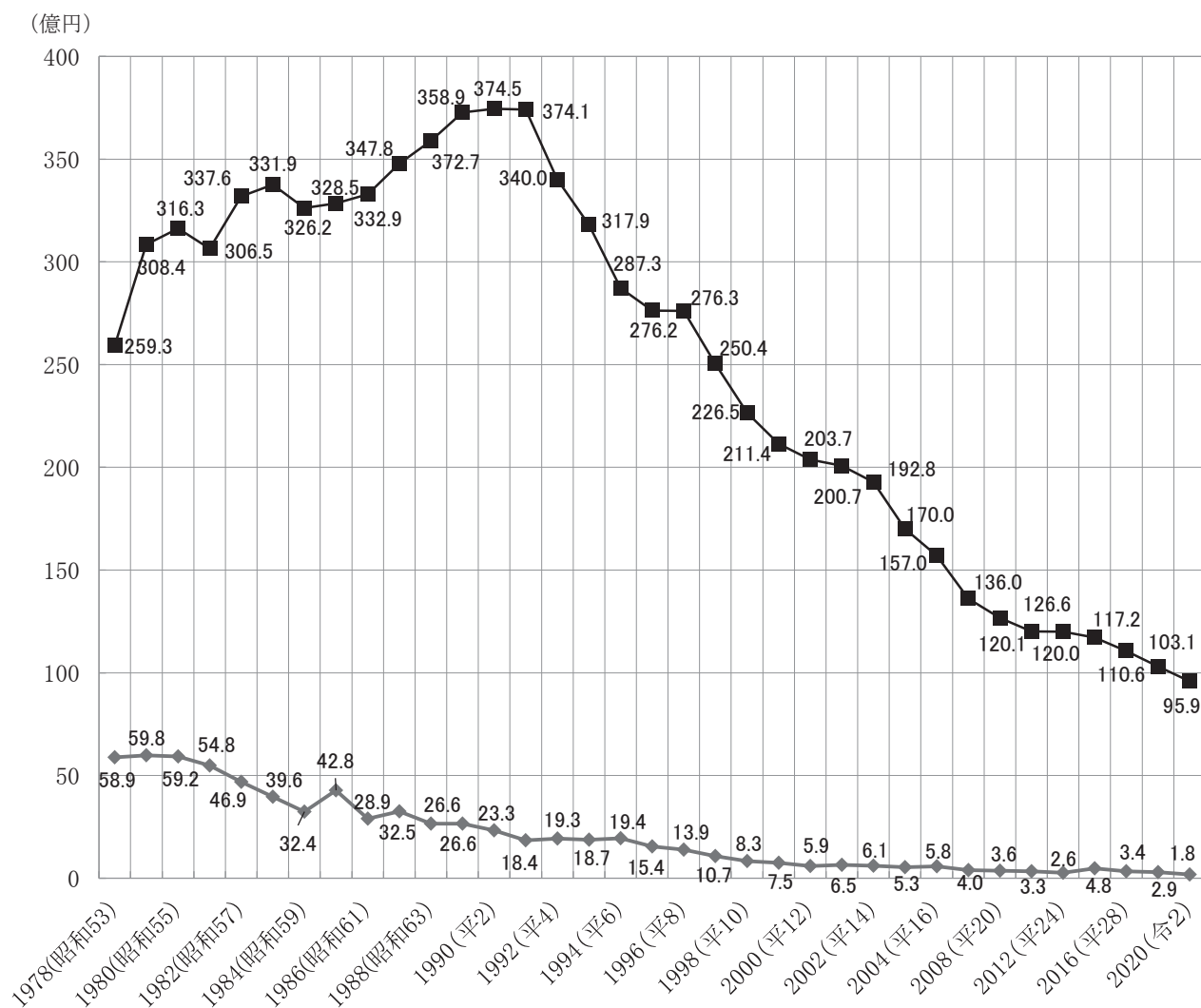
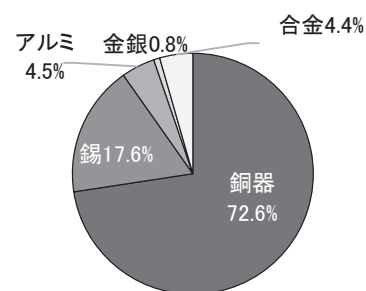
高岡の銅器・鉄器

【銅器・鉄器販売額の推移】

(単位:千円、%)

年	銅器(非鉄合金等含む)		鉄器	
	販売額	前回比	販売額	前回比
2012(平24)	12,000,720	-	261,688	-
2014(平26)	11,724,517	97.7	478,193	182.7
2016(平28)	11,069,684	94.4	341,982	71.5
2018(平30)	10,313,755	93.2	294,563	86.1
2020(令2)	9,586,009	92.9	182,234	61.9

【銅器素材別内訳】



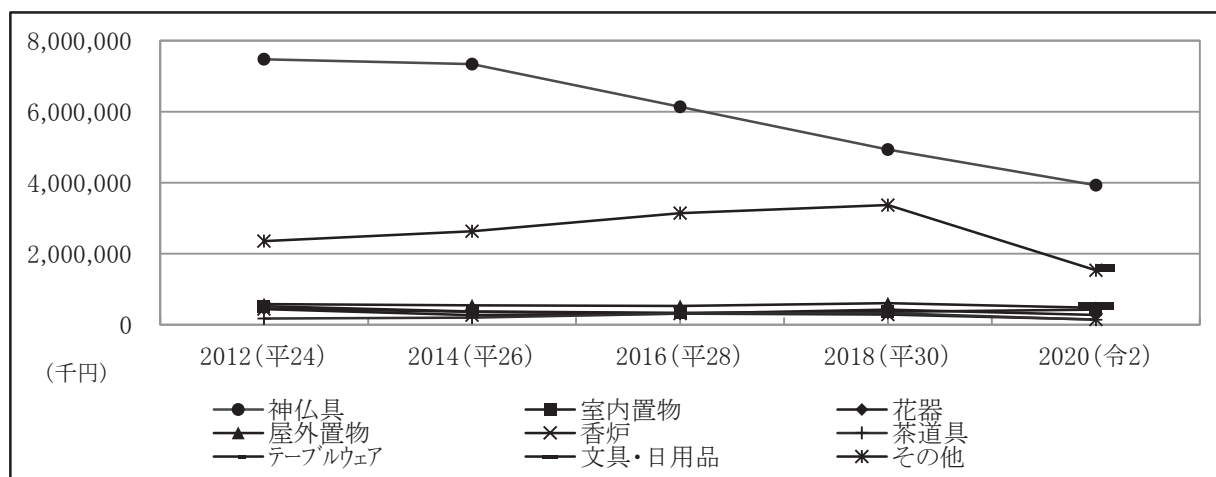
高岡の銅器・鉄器

【銅器品種別販売額】

(単位:千円、%)

品種	2020(令和2年)		2018(平成30年)		2016(平成28年)		2014(平成26年)		2012(平成24年)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
神 仏 具	4,430,882	46.2	4,936,102	47.9	6,132,706	55.4	7,341,376	62.6	7,474,367	62.3
室内置物	432,174	4.5	362,968	3.5	334,982	3.0	371,719	3.2	520,669	4.3
花 器	281,615	2.9	425,418	4.1	311,387	2.8	363,139	3.1	453,658	3.8
屋外置物	481,787	5.0	607,593	5.9	530,004	4.8	546,919	4.7	579,812	4.8
香 炉	153,271	1.6	283,846	2.8	308,649	2.8	268,333	2.3	439,440	3.7
茶 道 具	141,717	1.5	327,159	3.2	312,994	2.8	197,982	1.6	175,618	1.5
テーブルウェア	1,594,592	16.6	-	-	-	-	-	-	-	-
文具・日用品	508,140	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	1,561,831	16.4	3,370,668	32.6	3,138,962	28.4	2,635,049	22.5	2,357,156	19.6
計	9,586,009	100.0	10,313,755	100.0	11,069,684	100.0	11,724,517	100.0	12,000,720	100.0

※その他…パネル、エクステリア製品、アクセサリ等。(平成30年以前はテーブルウェア、文具・日用品も含む)

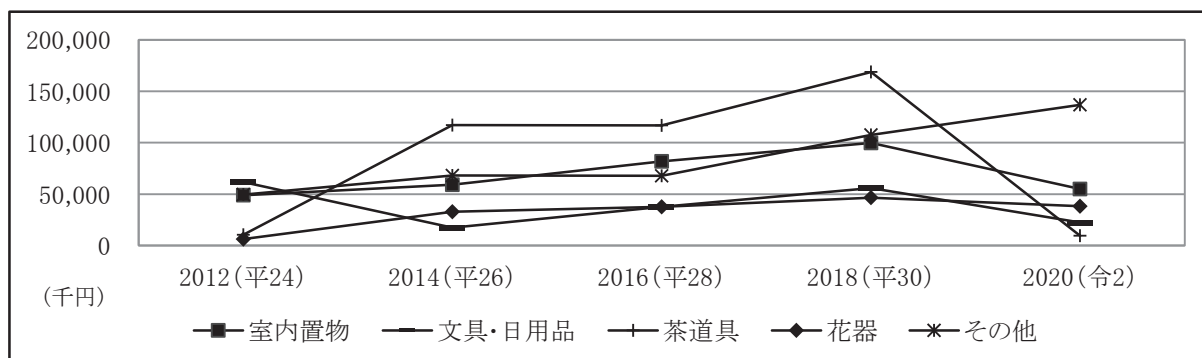


【鉄器品種別販売額】

(単位:千円、%)

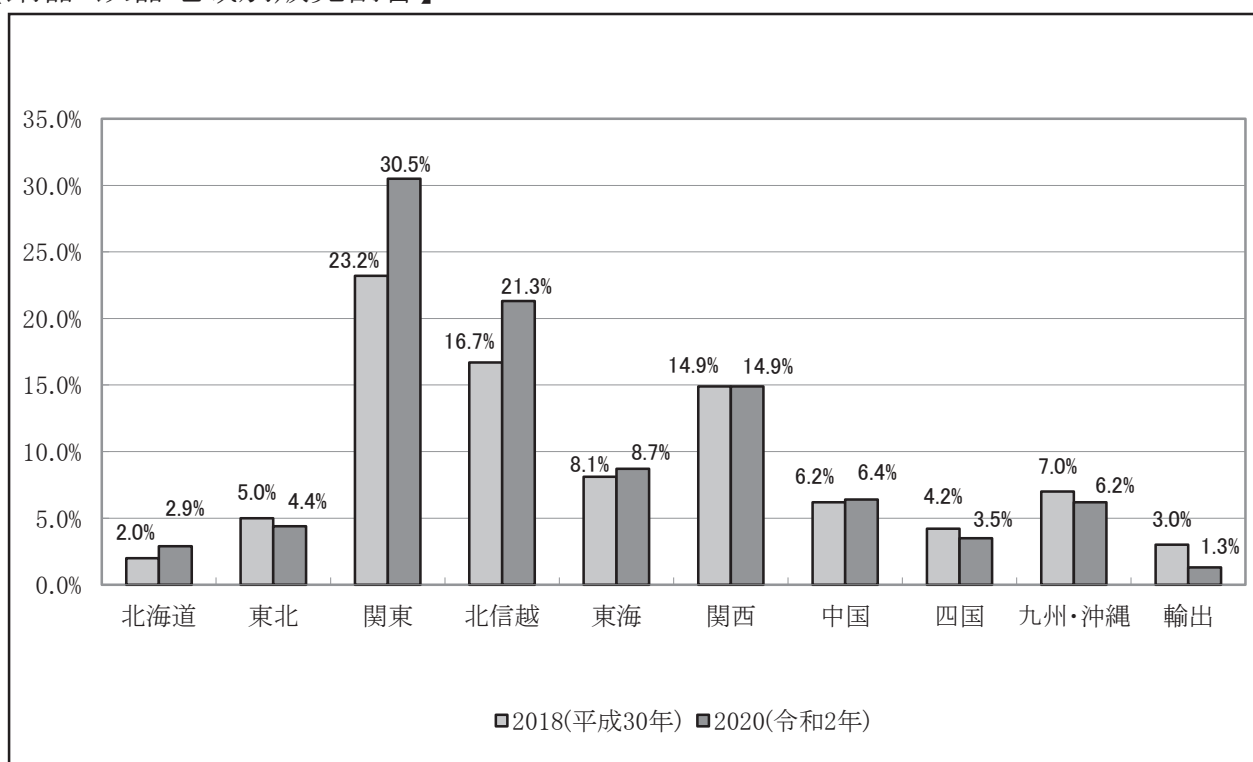
品種	2020(令和2年)		2018(平成30年)		2016(平成28年)		2014(平成26年)		2012(平成24年)	
	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比	販売額	構成比
室内置物	48,861	26.8	59,278	20.1	81,872	23.9	99,764	20.9	54,850	21.0
文具・日用品	61,693	33.9	17,352	5.9	37,597	11.0	55,710	11.7	22,467	8.6
茶 道 具	10,384	5.7	117,193	39.8	116,886	34.2	168,709	35.3	9,408	3.6
花 器	6,250	3.4	32,735	11.1	37,748	11.0	46,464	9.7	38,147	14.6
そ の 他	55,046	30.2	68,004	23.1	67,879	19.8	107,545	22.5	136,816	52.3
計	182,234	100.0	294,563	100.0	341,982	100.0	478,192	100.0	261,688	100.0

※その他…神仏具、屋外置物、香炉、パネル、エクステリア、テーブルウェア、アクセサリ等。

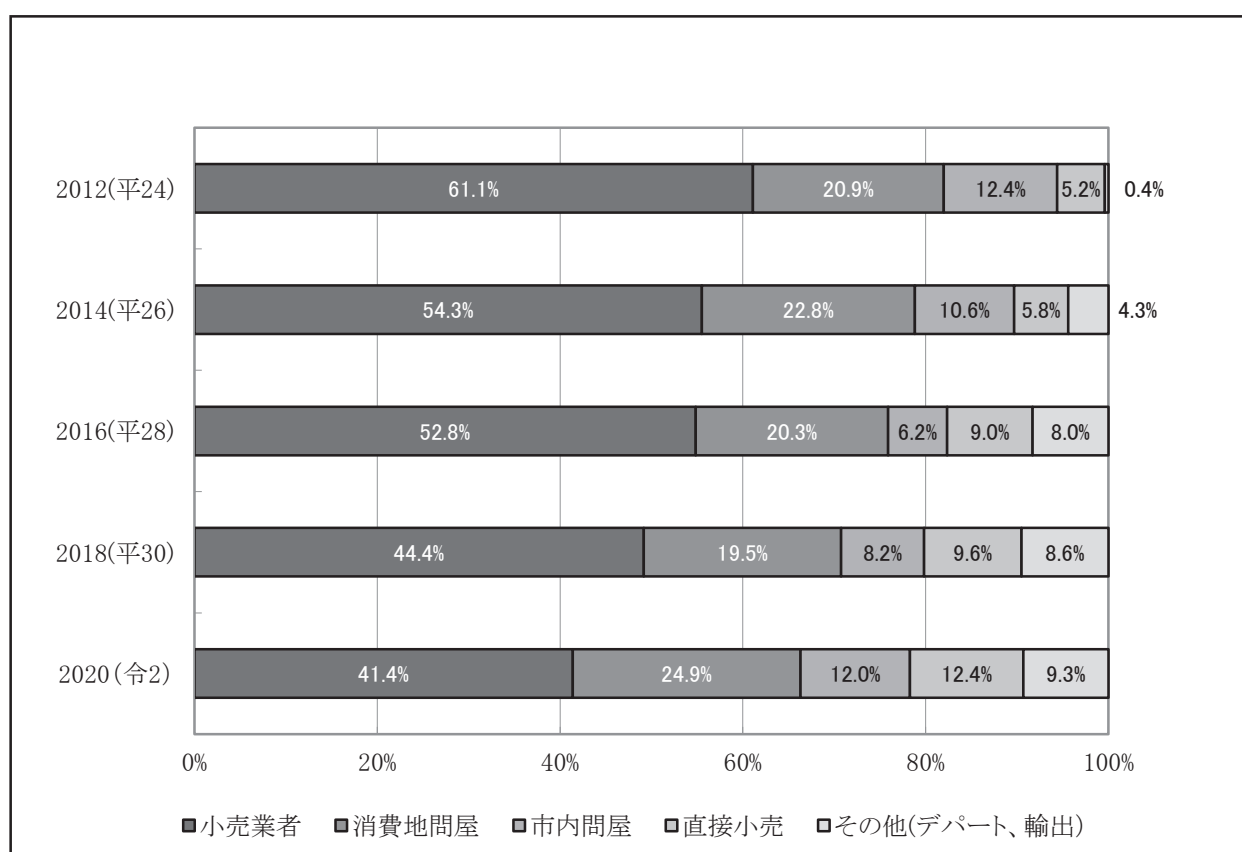


高岡の銅器・鉄器

【銅器・鉄器地域別販売割合】



【銅器・鉄器販売先の業種別割合の推移】



高岡の銅器・鉄器

【鑄造法別事業所数と生産額】

○銅器

(単位:千円、%)

製法	2020(令和2年)			2018(平成30年)			前回比	
	事業所数	年間生産額	構成比(%)	事業所数	年間生産額	構成比(%)	事業所数	生産額
生 型	21	1,864,777	45.8	19	1,309,815	37.4	110.5	142.4
焼 型	5	18,318	0.5	4	13,803	0.4	125.0	132.7
双 型	2	18,506	0.5	4	65,342	1.9	50.0	28.3
ガ ス 型	5	268,563	6.6	6	405,892	11.6	83.3	66.2
蠟 型	0	0	0.0	2	4,104	0.1	0.0	0.0
ロストワックス	8	446,274	11.0	7	306,480	8.8	114.3	145.6
金 型	2	280,000	6.9	3	33,164	0.9	66.7	844.3
そ の 他	8	1,172,408	28.8	12	1,360,613	38.9	66.7	86.2
計	51	4,068,846	100.0	57	3,922,338	100.0	89.5	103.7

※同一事業所で複数の製法を行っている場合は、事業所数を重複して計上している。

○鉄器

(単位:千円、%)

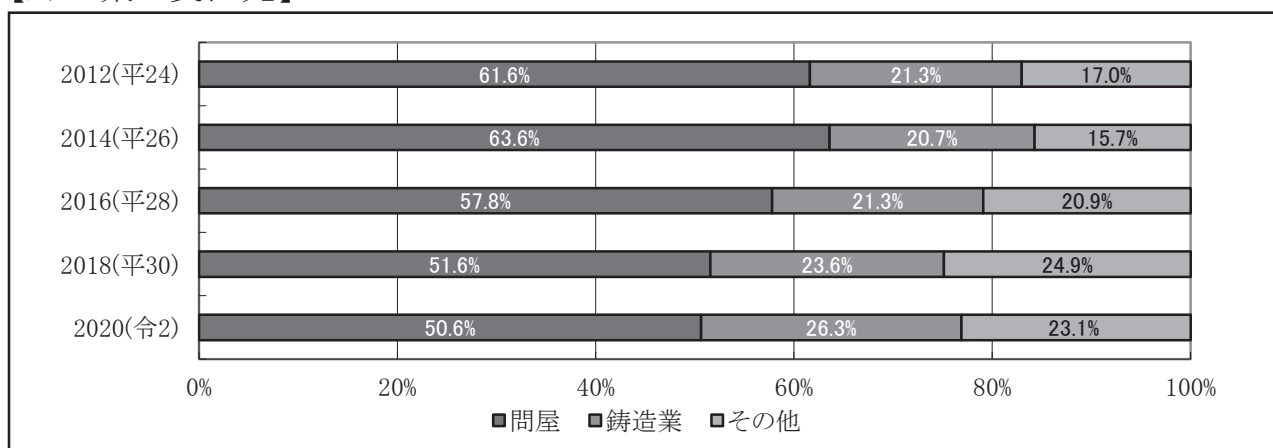
製法	2020(令和2年)			2018(平成30年)			前回比(%)	
	事業所数	年間生産額	構成比	事業所数	年間生産額	構成比	事業所数	生産額
生 型	2	47,532	61.2	2	54,400	47.8	100.0	87.4
双 型	2	27,661	35.6	2	49,813	43.8	100.0	55.5
そ の 他	1	2,532	3.3	2	9,600	8.4	50.0	26.4
計	5	77,726	100.0	6	113,813	100.0	83.3	68.3

【加工工程別事業所数と加工額】

(単位:千円、%)

工程	2020(令和2年)			2018(平成30年)			前回比	
	事業所数	加工額	構成比	事業所数	加工額	構成比	事業所数	加工額
溶 接	4	4,909	0.7	4	6,546	1.1	100.0	75.0
研 磨	14	74,934	11.0	13	92,380	15.2	107.7	81.1
彫 金	16	61,822	9.1	16	60,908	10.0	100.0	101.5
着 色	36	368,994	54.3	31	344,869	56.8	116.1	107.0
仕 上	12	169,138	24.9	11	102,049	16.8	109.1	165.7
計	82	679,797	100.0	75	606,752	100.0	109.3	112.0

【加工業の受注先】



高岡の銅器・鉄器

【事業所数と従事者数】

○問屋

	2020(令2)	2018(平30)	2016(平28)	2014(平26)	2012(平24)	前回比(%)
事業所数(社)	47	56	59	61	68	83.9
従事者数(人)	335	517	564	555	595	64.8
※回答者数	(52)	(49)	(45)	(46)	(47)	

○鋳造

	2020(令2)	2018(平30)	2016(平28)	2014(平26)	2012(平24)	前回比(%)
事業所数(社)	46	50	60	67	71	92.0
従事者数(人)	447	445	483	617	615	100.4
※回答者数	(34)	(37)	(38)	(40)	(49)	

	うち鉄器を扱う事業所	左のうち鉄器のみ
事業所数(社)	3	2
従事者数(人)	18	12

○溶接

	2020(令2)	2018(平30)	2016(平28)	2014(平26)	2012(平24)	前回比(%)
事業所数(社)	4	4	3	4	4	100.0
従事者数(人)	4	4	3	4	7	100.0

○研磨

	2020(令2)	2018(平30)	2016(平28)	2014(平26)	2012(平24)	前回比(%)
事業所数(社)	14	13	15	17	21	107.7
従事者数(人)	26	27	35	33	39	96.3

○彫金

	2020(令2)	2018(平30)	2016(平28)	2014(平26)	2012(平24)	前回比(%)
事業所数(社)	16	16	14	18	18	100.0
従事者数(人)	22	26	20	23	22	84.6

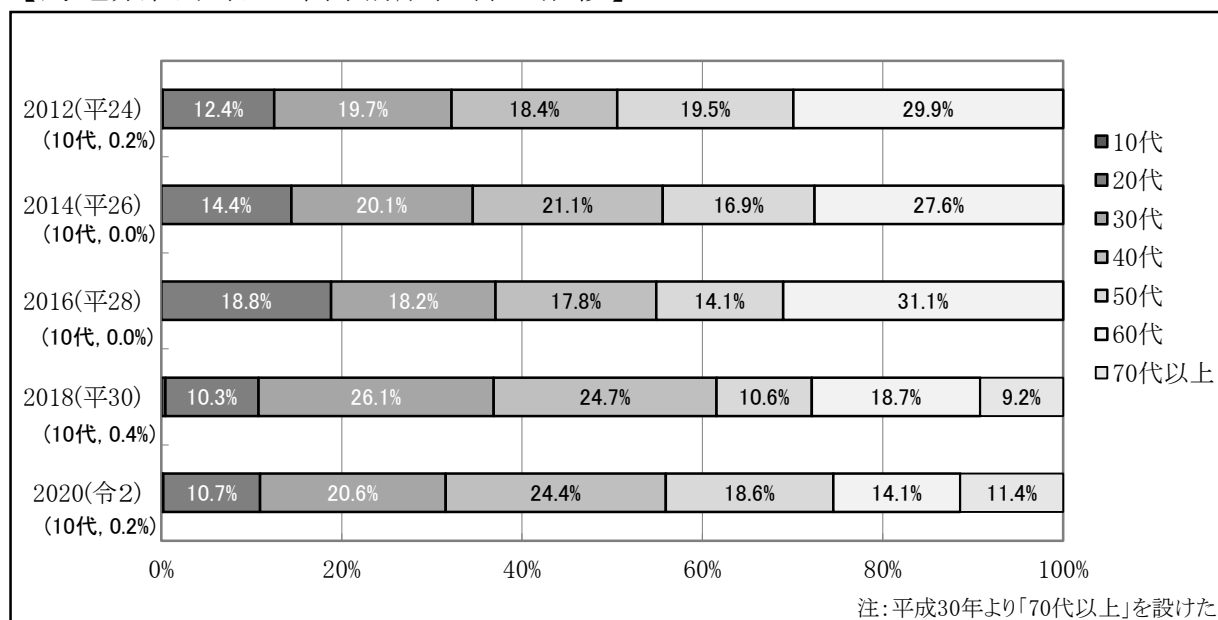
○着色

	2020(令2)	2018(平30)	2016(平28)	2014(平26)	2012(平24)	前回比(%)
事業所数(社)	36	31	31	36	44	116.1
従事者数(人)	119	108	105	107	115	110.2

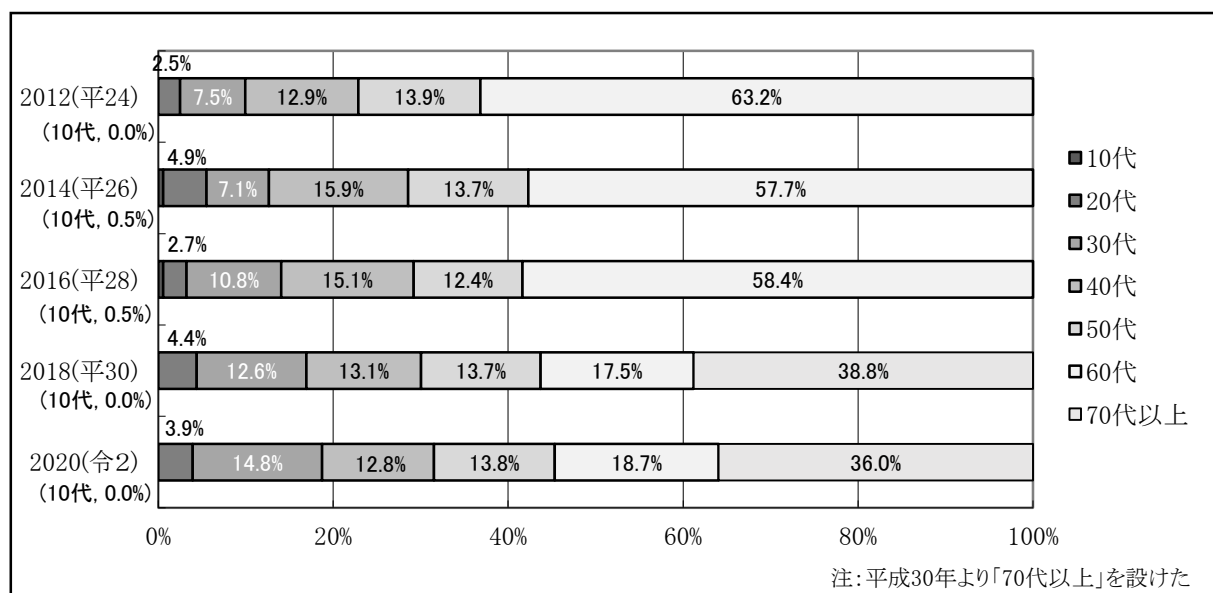
○仕上

	2020(令2)	2018(平30)	2016(平28)	2014(平26)	2012(平24)	前回比(%)
事業所数(社)	12	11	13	9	11	109.1
従事者数(人)	32	18	22	15	19	177.8

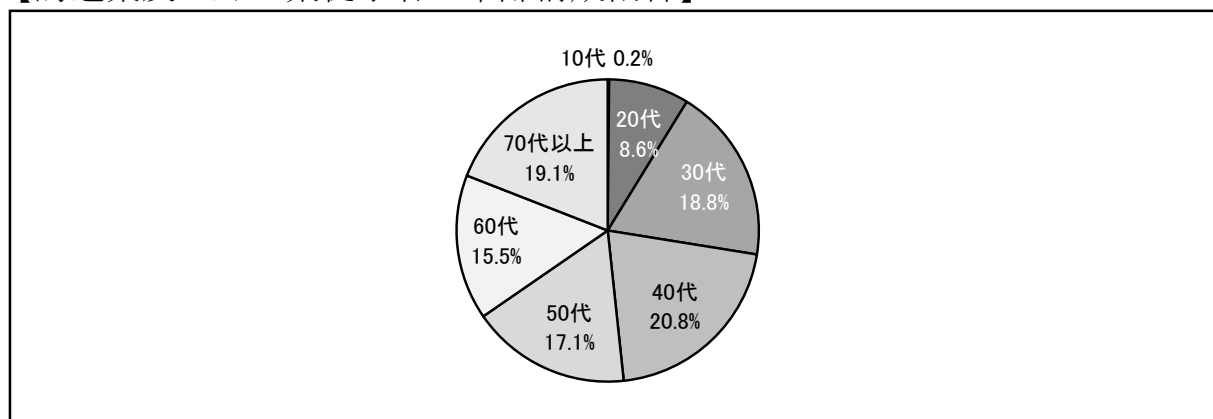
【鑄造業従事者の年齢構成割合の推移】



【加工業従事者の年齢構成割合の推移】

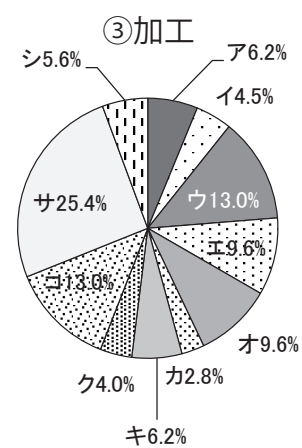
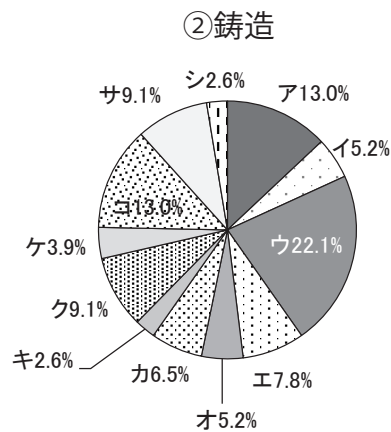
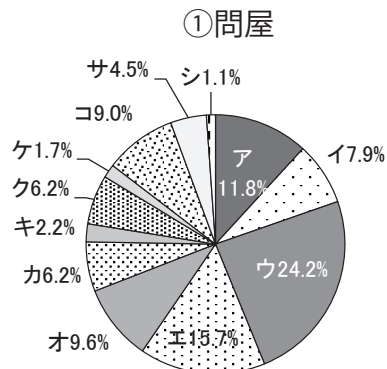


【鑄造業及び加工業従事者の年齢構成割合】



【意識調査について】

1 今後の方向性



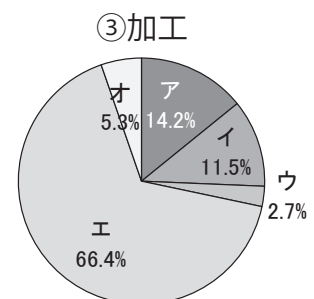
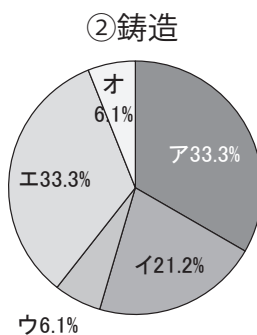
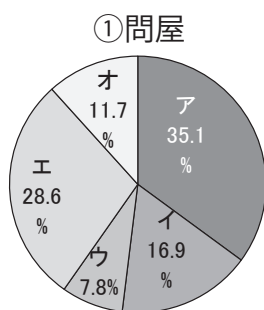
注：グラフにない項目は回答者なし

- ア 伝統技術と融合させる新技術の導入
- ウ 新商品の開発
- オ 海外の販路開拓
- キ 文化財などの修理事業
- ケ IoTなどを活用した工程等の改善
- サ 現状のままでよい

- イ 異素材の活用
- エ 国内の販路開拓
- カ 工房見学・体験などの産業観光の受け入れ
- ク 事業の効率化による経営改善
- コ 技術継承などの後継者育成
- シ その他

問屋は、「新商品の開発(24.2%)」「国内の販路開拓(15.7%)」「新技術の導入(11.8%)」となり、コロナ禍において新たな顧客層に受け入れられる商品の開発に関心が高まっていると推察される。鑄造は、「新商品の開発(22.1%)」「新技術の導入(13.0%)」「後継者育成(13.0%)」となり、新商品開発に加えて、技術の継承に関心がある傾向がみられる。加工は、「既存のままでよい(25.4%)」との回答が高いが、前回(42.3%)と比較すると大幅に減少しており、傾向に変化がみられる。

2 後継者について



- ア 後継者が継ぐ予定
- ウ 誰かに会社を継いでほしい
- オ 自分の代で廃業してもよいが、技術は誰かに継承してほしい

- イ 後継者候補がいるが継ぐか未定
- エ 自分の代で廃業してもよい

問屋と鑄造は、「後継者が継ぐ予定(35.1%、33.3%)」との回答が前回(問屋40.4%、鑄造37.8%)から低下しており、残りの約6割が後継者未定または不在の状態であった。加工は「自分の代で廃業してもよい(66.4%)」の回答割合が前回(65.4%)より上昇しており、事業の継続が危ぶまれる事業者が増加していると考えられる。